



令和6年7月30日

研修だより 25号

全国学力調査の考察（算数編）

小笠原康晃

先日、全国学力・学習状況調査の結果が帰ってきました。調査の中の国語と算数に関する考察を行いました。よかったところを伸ばす授業や改善すべきところを意識する授業を実践することで、子どもたちの学力を高めていくことに繋がります。ぜひ2学期以降に気を付けて授業をしてみてください。

1 算数

(1) 「よかったところ」に関する問題

出題の趣旨	領域	観点	問題形式
球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。	図形	思判表	短答式
除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる。	数と計算	知・技	短答式
簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように必要整理することができるかどうかをみる。	データの活用	知・技	短答式

問題文において明らかになっていることを整理して、答えを求めることができます。「この文章題は何をもとめているのか」ということを、言葉や条件に気を付けながら、求めることができます。

今後も、問題文に取り組むときには「このお話はどんなお話ですか」と、子どもたちに聞くなどして、何が求められているか整理ができるようにしていきたいですね。

(2) 「改善すべきところ」に関する問題

出題の趣旨	領域	観点	問題形式
計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。	数と計算	思判表	記述式
角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。	図形	思判表	記述式
折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるか	データの活用	思判表	記述式

どうかをみる。			
---------	--	--	--

言葉と数を用いて、求め方や考えをまとめることが苦手でした。「なぜ、その式になるのか」ということを、授業のまとめなどで文章化したり、友達に説明したりするようなことに取り組んでいきたいですね。

(3) 全体的な考察

① 与えられた条件に対する答えを求めることができる。

文章題を読んで立式することや計算を正確にして答えを求めることができています。AIドリルなどを使った学習などを効果的に使っていることで、基礎基本的な内容の習得ができています。

今後も、AIドリルなどを活用した取組を続けてきたいですね。

② 自分の言葉で求め方をまとめることが難しい

文章題に取り組むとき、求め方を自分の言葉で説明することが大切になってきます。立式、計算、答えの記入は正確にできています。この過程を自分の言葉で説明したり、まとめたりするような取組をしていきたいですね。